

## 教育事例②①

# プレゼンテーション能力向上を目指す教育プログラムを開発

～学生同士のピア活動で、より説得力のあるプレゼンにブラッシュアップ～

### eラーニングを取り入れたプレゼンテーション能力開発プログラム

#### 制作のきっかけ

2年間、レポートの書き方を学生に教えるプログラムを進めてきて、「次に何をするか」を考えたとき、能力の次にスキルをつけさせようと思いました。

その手段として、eラーニングが効果的と判断し、プレゼンの仕方や能力を身につけながら最終的にプレゼンに臨むまでを一貫して学べるようにしました。

#### プレゼンスキルを身につける

まず、学生実験の開始と同時にeラーニングをスタートさせ、実験をしながらプレゼンの仕方でも学んでいくスタイルにしました。約1～2か月かけてプレゼンスキルを身につけ、その後、eラーニング上で学生同士やり取りをしながら実験結果をプレゼン資料にまとめる期間を設けました。

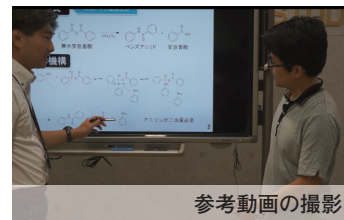


撮影風景

そして最後にプレゼンをさせ、eラーニングをした今年度の学生と以前の学生の差を見ることで効果を検証しました。

#### 教材の特徴

eラーニングは実際に使う人の意識が非常に重要で、必修科目の学生実験とリンクさせることでかなりの効果は出ているのではないかと思います。本講義は主体的にアクセスしないと進まないため、どれくらい参加してもらえるかが重要です。そこで、必修科目の学生実験とリンクさせたのがひとつの特徴と言えます。



参考動画の撮影

また、各段階で課題を設け、そこをクリアしていくというように、ちょっとしたゲーム感覚で力を付けさせるといった工夫もしてみました。

#### 学生の反応は？

実際に去年1年間やってみて学生のアンケートを取ったところ、今まで全くプレゼンのやり方を教わったことがないという人が多数いて、プレゼンのやり方やスキルを学ぶ機会が出来て良かったという反応が非常に多かったです。

もちろん既に内容を知っており、有意義ではなかったという学生もいましたが、大部分の学生にとっては有意義なコンテ



eラーニングでプレゼンスキルを身につける!

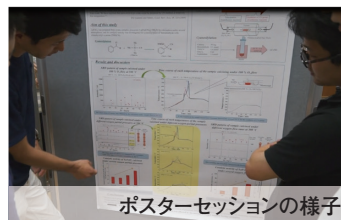
大学院理工学研究科物質生命工学専攻反応化学  
白旗 崇 准教授

ツであったと思います。

感じる事が出来ます。

#### 学生への効果

最終的に自分たちが何をし、どういう結果が出て、それに対してどのように考えたかを、指定された時間内で確実に発表できるグループが多くなりました。



ポスターセッションの様子

最初は時間内にきれいにまとめることは全くできていない学生が多かった中、それがきちんとできるようになったところ、効果があつたと

#### これからの取り組み

今回の試みで残念だったのは、質疑応答があまり活発に行われていなかったことです。そのため、質疑応答に関する内容をeラーニングの中で出来ないかと考えています。

例えば、インターネットを介して他大学の学生とプレゼンを行い、それに対して質疑応答をするというようなことをやってみたいですね。

国内の大学はもちろんですが、更にハードルを上げて、海外の大学の学生と英語でプレゼンテーションをしてみても面白いでしょう。非常に難しいですが、実現すればかなりの効果が期待できると思います。

## ピア活動を利用したプレゼンテーション能力開発プログラム

### プログラムの目的

論理的な思考に基づいた説得力のある発表ができる

**Lv.1**  
■ 序論、結論が示されていない発表  
■ 声が小さい発表  
■ メモを見ながら発表

**Lv.2**  
■ 序論、結論がわかりやすい発表  
■ 大きな声で発表  
■ 聴衆とアイコンタクトしながら発表

**Lv.3**  
■ Level.2をクリアしている発表  
■ 質問に的確に回答  
■ 工夫されたプレゼン資料

**Lv.4**  
■ Level.3をクリアしている発表  
■ 自分のプレゼンを俯瞰できる

2年・後期

有機・高分子化学  
無機・物理化学

実験

eラーニング

プレゼンスキル8つの鉄則  
理工系プレゼンのコツ  
PPT作成のコツ

ピア活動

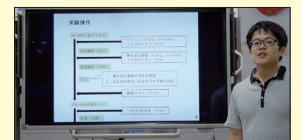
発表する・聴く

グループ毎に  
実験科目の口頭発表

グループ活動

### moodleを使ったeラーニング・コンテンツの特徴

- ① プレゼンスキルおよびPPTの作成のコツについての解説動画を掲載し、いつでも視聴できるようにした。
- ② 他者がプレゼンしている動画を見て、どこが良くどこが悪いかをディスカッションさせることで、プレゼンの際の注意点への気づきを促した。
- ③ 解説動画を見た後で確認問題を何度でも、最後には全体問題を1回のみ解かせることで、記憶の定着を図った。
- ④ 最後のプレゼン資料を「フォーラム」に提出。同一実験を行う他班のものは見られないが他実験の他班のものは見られる設定とし、他班を参考にすることで資料をよりブラッシュアップできる環境を作った。
- ⑤ フォーラムを活用することで、インターネットを介して班内で議論するピア活動を実践させることができた。



▲ プレゼンのサンプル動画



▲ プレゼン資料を「フォーラム」に提出